

2010/3/30

ジリオン キヤノン一眼ハウジング+イノン 水中マイクロセミ魚眼フィッシュアイレンズ UFL-MR130 EFS60 テスト

■テスト内容■

ジリオン製ハウジングとイノンセミフィッシュアイレンズとの組み合わせにおける画質の検証

■使用機材■

- ・ジリオン: ZAP-Kiss/DX ハウジング+キヤノン: EOS Kiss/X カメラ+ZIポートコンバーター
- ・イノン: X-2 for 50D/40D ハウジング+キヤノン: EOS 40D カメラ
- ・キヤノン: EF-S 60mm F2.8 USM マクロレンズ
- ・イノン: 水中マイクロセミ魚眼フィッシュアイレンズ UFL-MR130 EFS60+MRS60 ポート
- ・イノン: Z-240 Type4 ストロボ x 3 灯

■カメラ設定■

- ・マニュアル露出(絞りによってシャッタースピード変動)
- ・ISO100
- ・DPPを用いてのRAW現像
- ・現像パラメータは色濃度±0、シャープ+3に設定(特に意図はありません)
- ・中央重点測光
- ・Z-240ストロボは全てマニュアル発光

■テスト画像データ■

※EOS40Dの方がレンズ先端と被写体までの距離が近いため、周辺収差が若干悪くなっています。

※撮影距離: レンズ先端より約1cm

<ジリオンハウジング+EOS Kiss/Xカメラ>



F5.6



F8.0



F11

<イノンハウジング+EOS 40Dカメラ>



F5.6



F8.0



F11



F16



F16



F22



F22



F32



F32

★まとめ★

結果から言うと、個人的には「十分使える」レベルの画質が得られたのではないかと思います。今回は Kiss/X のカメラを使用しましたが、キヤノンのカメラとジリオンハウジングの組み合わせであれば、どの組み合わせでも使用可能です。

テストは水槽で行ったため、ハウジングのサイズの関係から、被写体に対して全く同じ位置・距離で撮影ができず、イノン X-2 ハウジングと 40D との組み合わせの方が画質が悪いように見えますが、Kiss/X の結果だけを見ても十分使えると思います。

このレンズは絞りを絞って使うことが基本で、ライティングも少し難易度が高いですが、いままで撮れなかったような写真が撮れるので、現在ジリオンのハウジング(キヤノン用)をお持ちの方にとっては、また違った写真を楽しめるツールになるのではないのでしょうか。

※必要な機材

- ・ジリオン: キヤノンデジタル一眼レフ対応ハウジング (5D・5D Mark II などのフルサイズ機には使用できません)
- ・ジリオン: Z1 ポートコンバーター (ジリオンハウジングにイノンポートを取り付けるマウント変換パーツ)
- ・イノン: MRS60 ポート II
- ・イノン: 磁石リング 60 セット
- ・イノン: 水中マイクロセミ魚眼フィッシュアイレンズ UFL-MR130 MRS60
- ・その他: ストロボ、ライト、アーム等